



今月の注目データ

海苔の生産量

乾燥椎茸の生産量

乾燥椎茸（※1）の生産量は、大分県が国内生産量の約5割を占め、全国1位を誇っています。

生椎茸は、約9割が菌床栽培（※2）でつくられる一方、乾燥椎茸は、ほぼ全てが原木栽培（※3）の椎茸からつくられます。大分県には原木栽培に最適なクヌギの林が全国一広い47,000haあることから生産が盛んであると考えられます。

クヌギの原木で栽培した椎茸を乾燥することで、香りが良く、肉厚で良質な乾燥椎茸がつくられます。乾燥椎茸には日本料理の三大うま味成分（※4）であるグアニル酸のほか、ビタミンDをはじめとした栄養分や食物繊維等が豊富に含まれており、美味しく、健康にもいい食品です。

（※1）乾燥椎茸：椎茸を乾燥させた食品。干し椎茸、乾椎茸とも呼ばれる。
（※2）菌床栽培：オガクズに米ぬか・フスマ・水を加えた人工の培地（菌床）を用い、ハウス内で栽培する方法。
（※3）原木栽培：伐採し枯れた木に直接菌を植え付け栽培する方法。
（※4）日本料理の三大うま味成分：イノシン酸（かつお節等）、グルタミン酸（昆布等）、グアニル酸（乾燥椎茸等）。

乾燥椎茸の生産量（平成24年）

1位 大分県 48.1%	2位 宮崎県 17.6%	3位 熊本県 7.8%	その他 26.4%
--------------------	--------------------	-------------------	--------------

（出所：林野庁「平成24年特用林産基礎資料」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成）

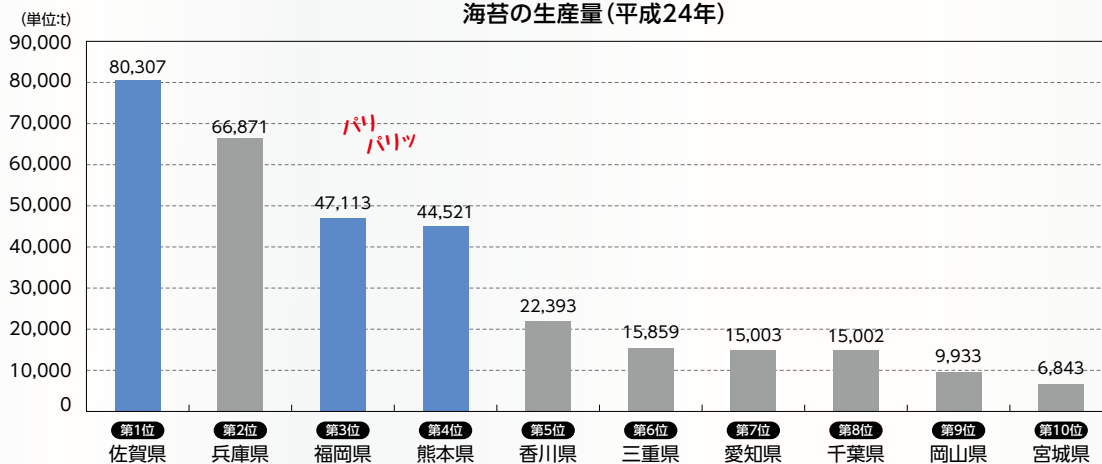
海苔の生産量

11月から始まり4月まで続く海苔の収穫が、寒さ厳しいこの季節に最盛期を迎えています。九州西部の内海・有明海に面する各県では、生産量第1位の佐賀県を筆頭に多くの海苔が生産されています。

日本最大の干満の差（最大6m）を利用して養殖される海苔は、海の中で栄養を吸収し、潮が引いて海上に顔を出した時に太陽の光を浴びて旨味をしっかりと閉じ込めます。

こうして出来た有明海苔は独特の赤みを帯びた黒色に輝き、高級海苔として全国で賞味されます。

海苔の生産量（平成24年）



（出所：農林水産省「平成24年漁業・養殖業生産統計」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成）

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

福岡県の景気は、生産に足元弱さが見られるものの、個人消費は前年比プラス推移を継続する等、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いています。

生産は、新型車販売に備えた生産調整等により足元は持ち直しの動きに弱さが見られます。個人消費は、大型小売店販売額、自動車販売が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。住宅建設は10ヵ月連続で前年を上回り好調に推移しています。

(森山 裕司)

1.生産活動 | 足元、持ち直しの動きに弱さが見られる

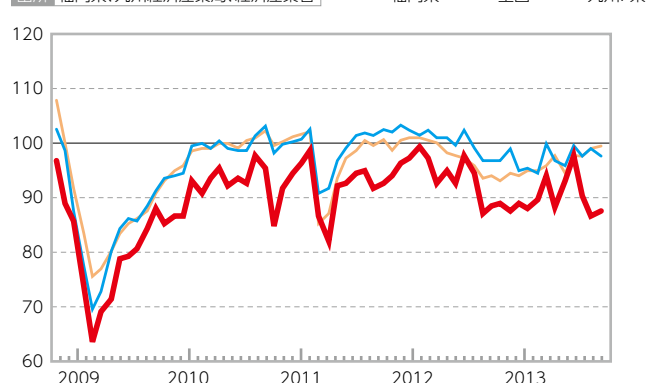
10月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は87.9と前月比0.9%上昇しました。

足元の生産は、持ち直しの動きに弱さが見られます。

主要業種では、医薬品が増産となった化学が上昇しました。新型車販売に備えた生産調整等により輸送機械は前月並み水準で推移しています。

■ 福岡県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(全国・九州7県 2010年=100、福岡県 2005年=100)

出所 福岡県、九州経済産業局、経済産業省



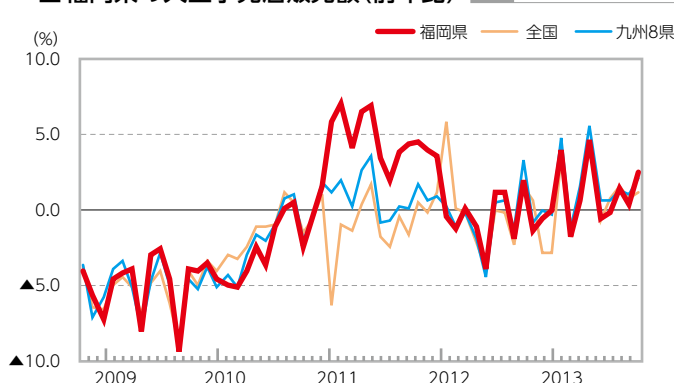
2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

11月の大型小売店販売額は、前年同月比2.7%増の597億円となりました。

月中旬以降の気温低下によりコートやセーターの売れ行きが伸びた他、高価格帯のハンドバッグ等、身の回り品も好調。また、惣菜等が好調だった飲食料品も前年を上回っています。

11月の自動車販売は、前年同月比17.8%増の15,118台となっています(乗用車は同16.7%増、軽自動車は同19.9%増)。

■ 福岡県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省



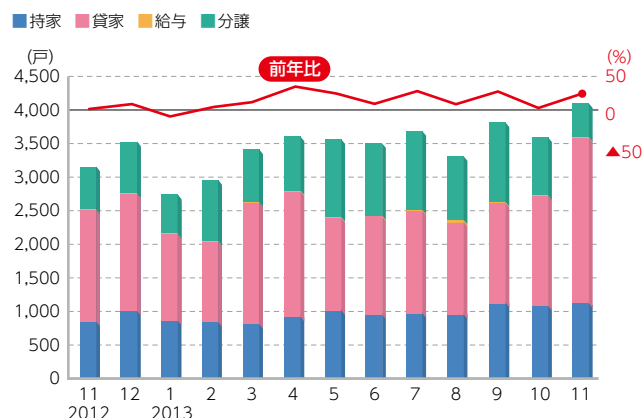
3.住宅建設 | 好調に推移している

11月の新設住宅着工戸数は、4,083戸と前年同月比29.4%増加し、10ヵ月連続で前年を上回りました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により、「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を大幅に上回る等、好調に推移しています。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



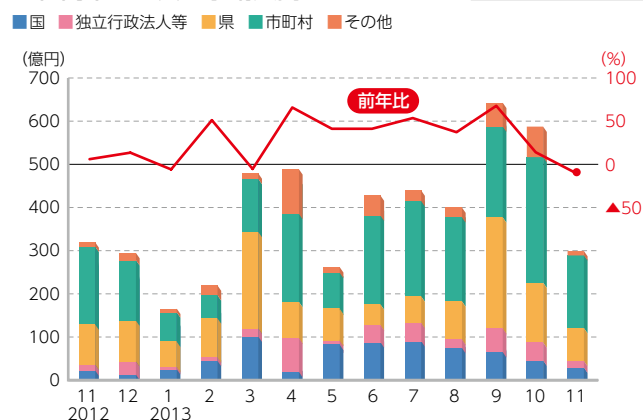
4.公共工事 | 足元は回復に向けた動きが一服

11月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比17.8%減の970件、金額が前年同月比8.9%減の297億円となりました。

発注者別では、「市町村」で学校の改修工事等の大型案件があったものの、「県」が前年を大きく下回り、全体では8ヵ月ぶりに前年を下回っています。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比5.3%増の20件、負債総額は同88.9%増の約51億円となりました。

食品製造業で10億円超の大型倒産がある等、負債総額は前年を大きく上回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

熊本県の景気は、個人消費に持ち直しの動きが見られる他、主要指標である生産が底堅く推移する等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

生産は、電子部品・デバイスが増産となる等、底堅く推移しています。個人消費は、大型小売店販売額、自動車販売ともに前年を上回り、持ち直しの動きが見られます。住宅建設や公共工事も好調に推移しています。

(大仲 陽介)

1.生産活動 | 底堅く推移している

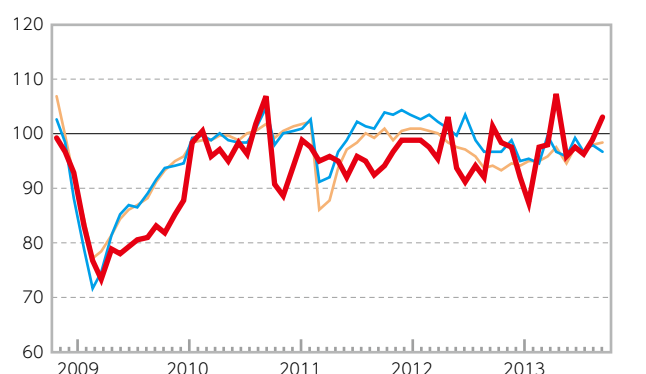
10月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は103.6と前月比4.5%上昇しました。

生産は、若干の上下動が見られるものの、概ね底堅く推移しています。

主要業種では、スマートフォン向け半導体が増産となった電子部品・デバイスや、半導体製造装置の生産が増加した一般機械が上昇しています。

■ 熊本県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(全国・九州7県 2010年=100, 熊本県 2005年=100)

出所 熊本県、九州経済産業局、経済産業省



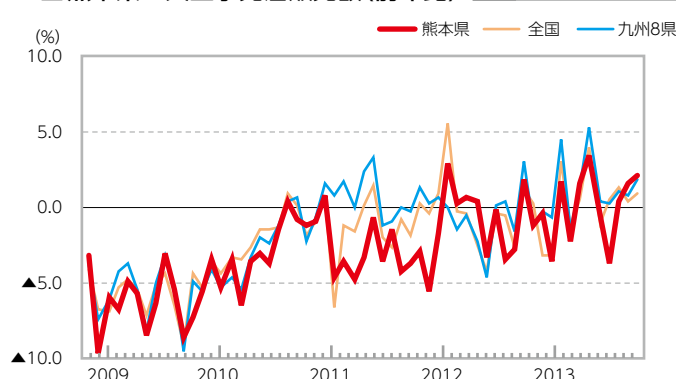
2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

11月の大型小売店販売額は、前年同月比2.6%増の141億円となりました。

衣料品の販売は同0.6%減となりましたが、飲食料品は惣菜等の好調に加え、野菜価格の上昇もあり前年を上回りました。

11月の自動車販売は、前年同月比17.2%増の5,731台となっています(乗用車は同20.8%増、軽自動車は同13.1%増)。

■ 熊本県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省



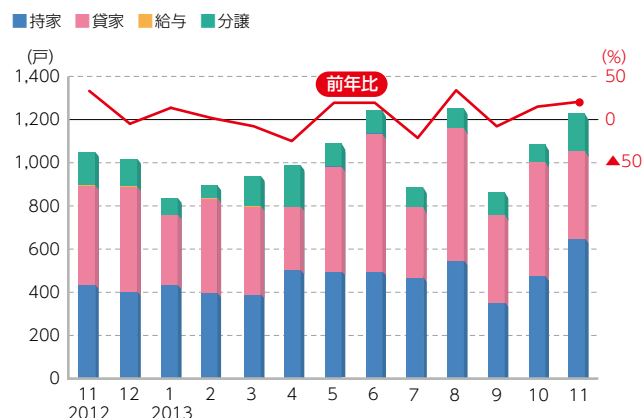
3.住宅建設 | 好調に推移している

11月の新設住宅着工戸数は、1,221戸と前年同月比20.1%増加しました。

消費税増税を意識して9月までに契約された「持家」や「分譲(戸建)」の着工が大幅に増加する等、着工戸数は好調に推移しています。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



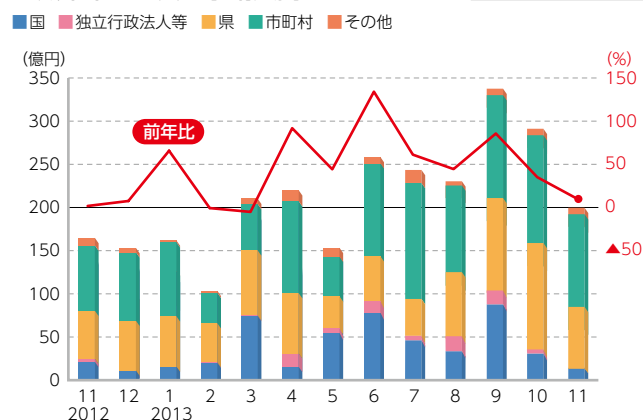
4.公共工事 | 好調に推移している

11月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比7.3%減の770件、金額が同15.7%増の200億円となりました。

発注者別では、ダム工事の発注があった「県」が前年を大幅に上回る等、好調に推移しています。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比44.4%減の5件、負債総額が同84.6%減の約3億円となりました。

介護事業で1億円の倒産が発生しましたが、負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

長崎県の景気は、主要指標である生産に上向きの兆しが見られる他、個人消費に持ち直しの動きが見られる等、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、建設関係のクレーンの増産によりはん用・生産用機械が上昇する等、足元では上向きの兆しが見られます。個人消費は、大型小売店販売額、自動車販売ともに前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。住宅建設は、着工戸数増加の動きが一服しています。

(下田 大氣)

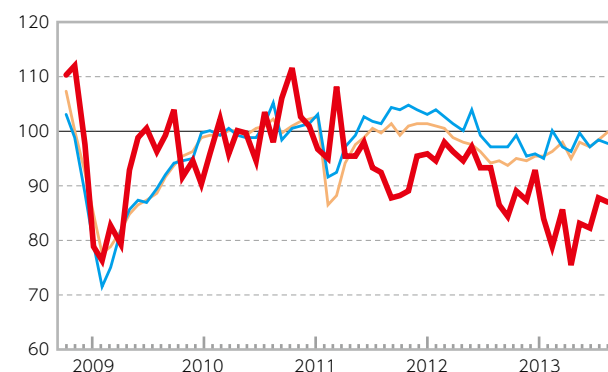
1.生産活動 | 足元では上向きの兆しが見られる

10月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は86.4と前月比0.6%%低下しました。

主要業種では、半導体集積回路の減産により電子部品・デバイスが大きく低下し全体を押し下げましたが、建設関係のクレーンの増産によりはん用・生産用機械が上昇する等、生産は足元では上向きの兆しが見られます。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(全国・九州7県・長崎県 2010年=100)

出所 長崎県、九州経済産業局、経済産業省



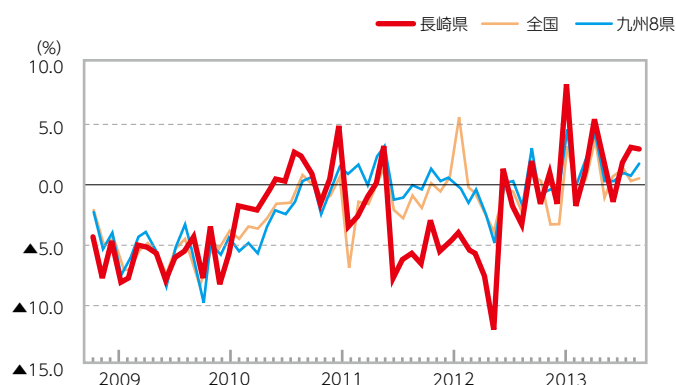
2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

11月の大型小売店販売額は、前年同月比3.0%増の101億円となりました。

主力の衣料品は冬物衣料が振るわなかったものの、惣菜・果物を中心に飲食料品が前年を大きく上回り全体を押し上げました。

11月の自動車販売は、前年同月比14.4%増の3,858台となっています(乗用車は同14.0%増、軽自動車は同14.8%増)。

■長崎県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





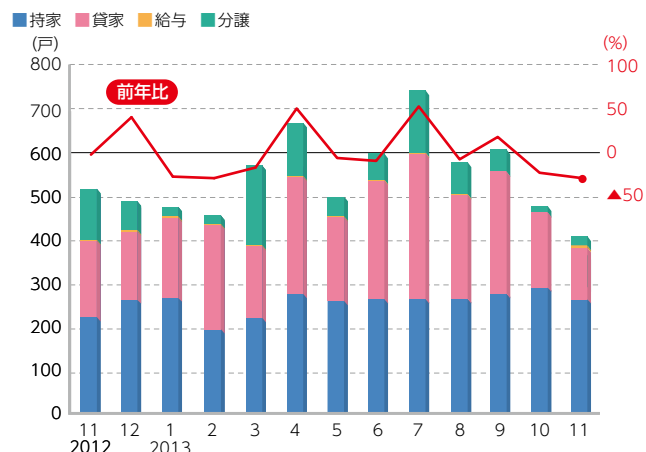
3.住宅建設 | 着工戸数増加の動きが一服

11月の新設住宅着工戸数は、416戸と前年同月比20.0%減少しました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により、「持家」と「分譲（戸建）」は前年を大きく上回りました。「貸家」と「分譲（マンション）」の着工は前年を大きく下回っています。足元では、着工戸数増加の動きに一服感が見られます。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



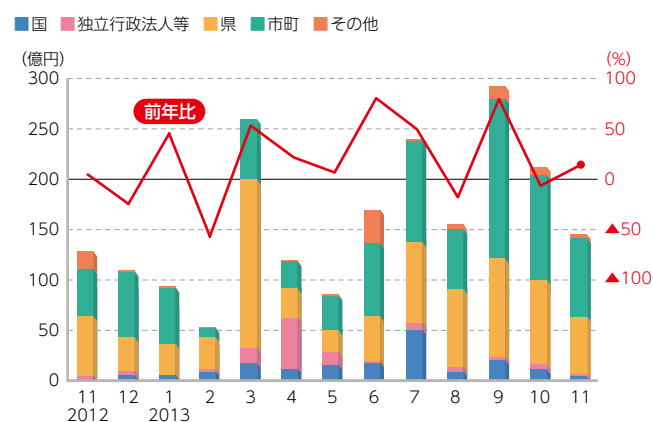
4.公共工事 | 好調に推移している

11月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比4.1%増の482件、金額が同13.6%増の146億円となりました。

発注者別では、空港関連工事があった「市町」が前年を上回る等、好調に推移しています。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

12月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比20%増の6件、負債総額が同約3倍の約15億円となりました。

海運業で負債額5億円を上回る倒産が2件発生し、負債総額は前年を大きく上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

佐賀県の景気は、個人消費に弱さが見られるものの、主要指標である生産は底堅く推移しており、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、一般機械や電子部品・デバイスが増産となる等、底堅く推移しています。個人消費は、自動車販売が前年を上回ったものの、大型小売店販売額が前年を下回る等、弱含みで推移しています。住宅建設は、着工戸数が前年を上回る等、好調に推移しています。

(下田 大氣)

1.生産活動 | 月次の振れを伴いつつも、底堅く推移している

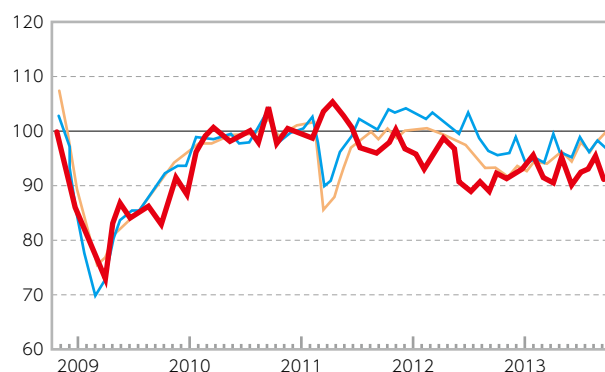
10月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は91.2と前月比5.0%低下しました。

生産は月次の振れを伴いつつも、底堅く推移しています。

主要業種では、医薬品が減産となった化学が低下しましたが、一般機械や電子部品・デバイスは上昇しました。

■ 佐賀県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(全国・九州7県 2010年=100、佐賀県 2005年=100)

出所 佐賀県、九州経済産業局、経済産業省



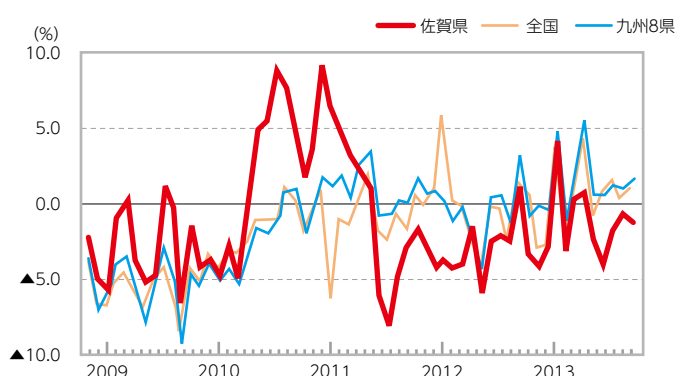
2.個人消費 | 弱含みで推移している

11月の大型小売店販売額は、前年同月比1.4%減の56億円となりました。

衣料品は、月初の気温高により冬物の売れ行きが鈍く前年を下回りました。主力の飲食料品は惣菜等が好調で前年を上回りました。

11月の自動車販売は、前年同月比23.8%増の2,730台となっています(乗用車は同24.2%増、軽自動車は同23.4%増)

■ 佐賀県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





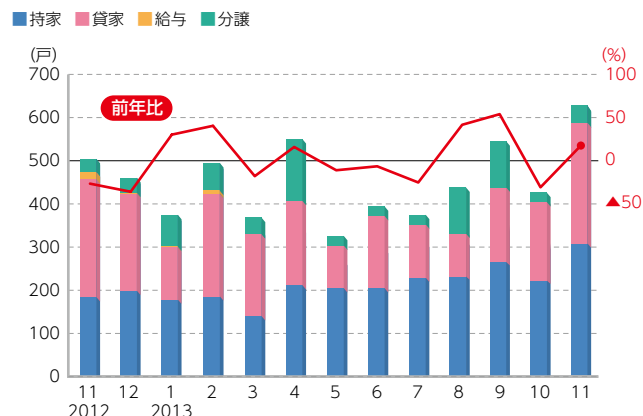
3.住宅建設 | 好調に推移している

11月の新設住宅着工戸数は、618戸と前年同月比24.1%増加しました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により「持家」、「貸家」、「分譲(戸建)」が前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



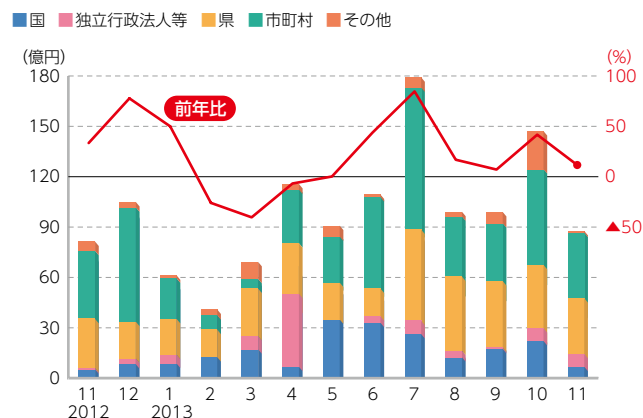
4.公共工事 | 堅調に推移している

11月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比7.2%増の371件、金額が同7.9%増の86億円となりました。

発注者別では、学校関連施設の大型案件があった「独立行政法人等」や浄水場関連工事等があった「市町村」が前年を上回る等、堅調に推移しています。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の2件、負債総額が同93.0%減の約40百万円となりました。

負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

大分県の景気は、個人消費が底堅く推移する他、主要指標である生産にも上向きの兆しが見られる等、総じて持ち直しの動きが見られます。

生産は、総合指数が2ヵ月連続で前月を上回る等、足元では上向きの兆しが見られます。個人消費は、大型小売店販売額がほぼ前年並み水準で推移した他、自動車販売が前年を大きく上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は好調に推移しています。

(松永 圭史)

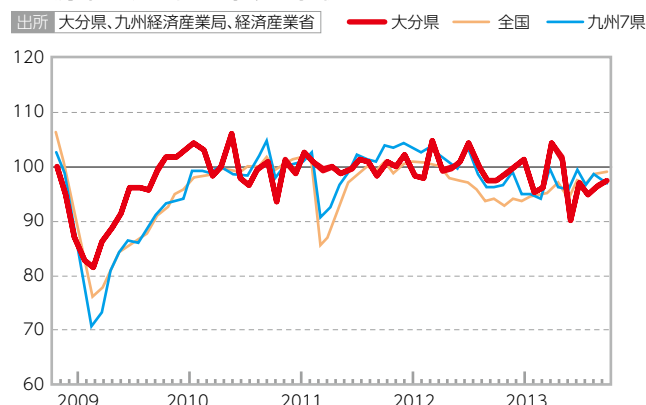
1.生産活動 | 足元では上向きの兆しが見られる

10月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は97.4と前月比0.8%上昇しました。

生産は、総合指数が2ヵ月連続で前月を上回る等、足元では上向きの兆しが見られます。

主要業種では、農薬や医薬品が増産となった化学・石油製品が上昇しました。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(全国・九州7県・大分県 2010年=100)



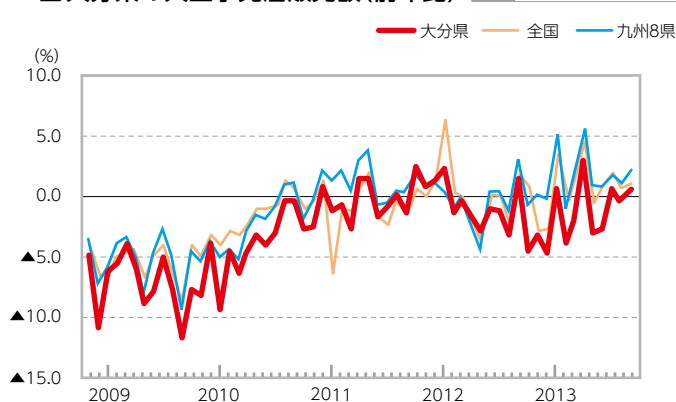
2.個人消費 | 底堅く推移している

11月の大型小売店販売額は、前年同月比0.7%増の103億円となりました。

衣料品は、月上旬の気温が高かったため冬物衣料の売れ行きが伸び悩み前年を下回りました。主力の飲食料品は、惣菜等の販売が好調で前年を上回りました。消費税増税前の駆け込み需要が見られる高額品は好調に推移しています。

11月の自動車販売は、前年同月比16.9%増の3,869台となっています(乗用車は同22.8%増、軽自動車は同9.9%増)。

■大分県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





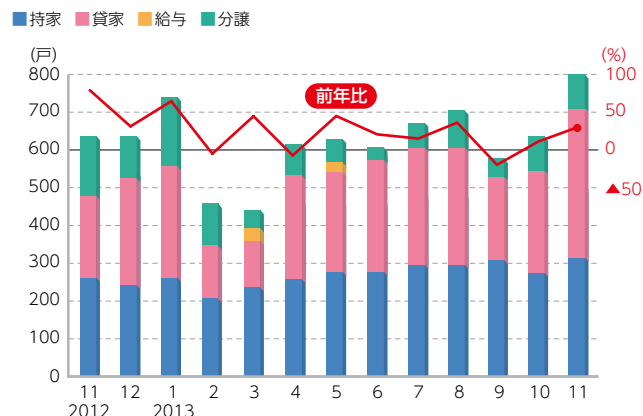
3.住宅建設 | 好調に推移している

11月の新設住宅着工戸数は、前年同月比26.4%増の799戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲(戸建)」で前年を上回る等、好調に推移しています。なお、「持家」は7ヵ月連続で前年を上回っています。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



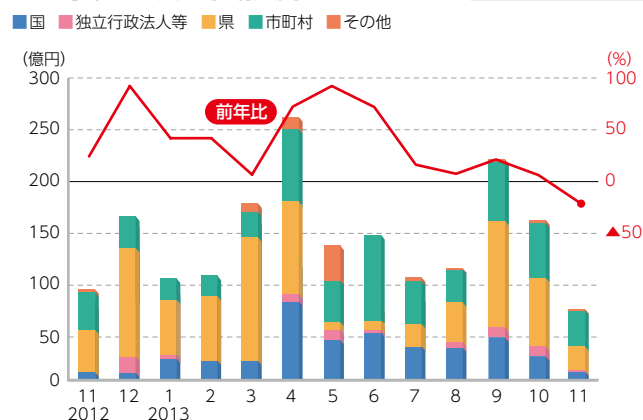
4.公共工事 | 足元は回復に向けた動きが一服

11月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比27.0%減の313件、金額が同12.1%減の78億円となりました。

発注者別では、中学校校舎改築工事の発注があった「市町村」が前年を上回りましたが、全体では14ヵ月ぶりに前年を下回り、足元は回復に向けた動きが一服しています。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



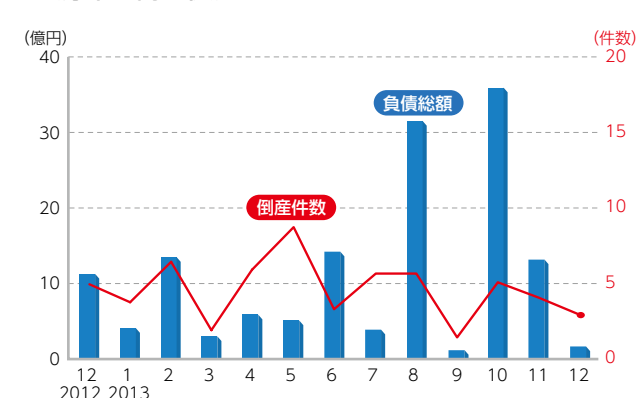
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比40.0%減の3件、負債総額が同85.5%減の約2億円となりました。

1億円を超える倒産はなく、負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

宮崎県の景気は、個人消費が底堅く推移する他、主要指標である生産が増加する等、総じて持ち直しの動きが続いています。

生産は、主要業種である化学が増産となる等、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、大型小売店販売額がほぼ前年並み水準で推移した他、自動車販売が前年を大きく上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は好調に推移しています。

(松永 圭史)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

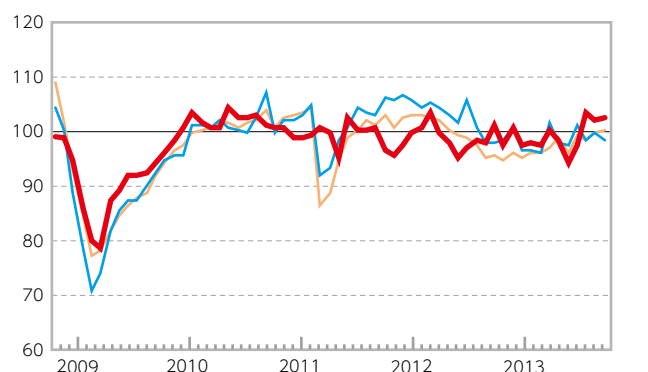
10月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は101.2と前月比0.7%上昇しました。

生産は、持ち直しの動きが続いています。

主要業種では、一部先における増産があった化学が前月比8.8%上昇しました。

■ 宮崎県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(全国・九州7県・宮崎県 2010年=100)

出所 宮崎県、九州経済産業局、経済産業省



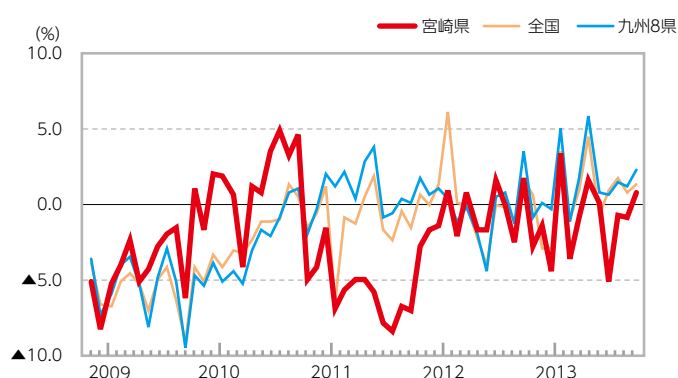
2.個人消費 | 底堅く推移している

11月の大型小売店販売額は、前年同月比0.7%増の74億円となりました。

衣料品は、月上旬の気温が高かったため冬物衣料の出足が鈍くなり前年を下回りました。主力の飲食料品は前年並み水準を維持しています。消費税増税前の駆け込み需要が見られる高額品は好調に推移しています。

11月の自動車販売は、前年比16.8%増の3,596台となっています(乗用車は同13.9%増、軽自動車は同20.1%増)。

■ 宮崎県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省



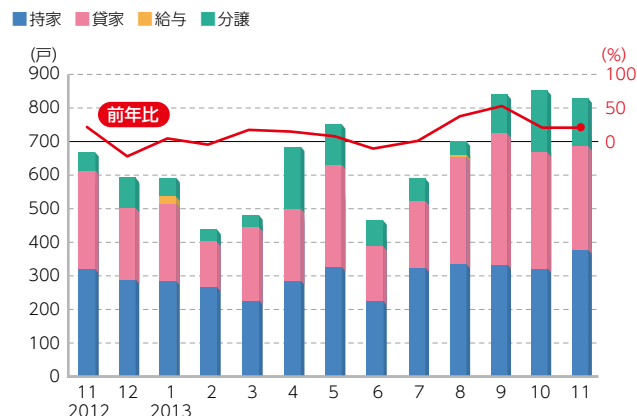
3.住宅建設 | 好調に推移している

11月の新設住宅着工戸数は、840戸と前年同月比25.0%増加しました。

「持家」の着工が前年を上回った他、前年に着工がなかった「分譲(マンション)」で着工(99戸)がある等、好調に推移しています。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



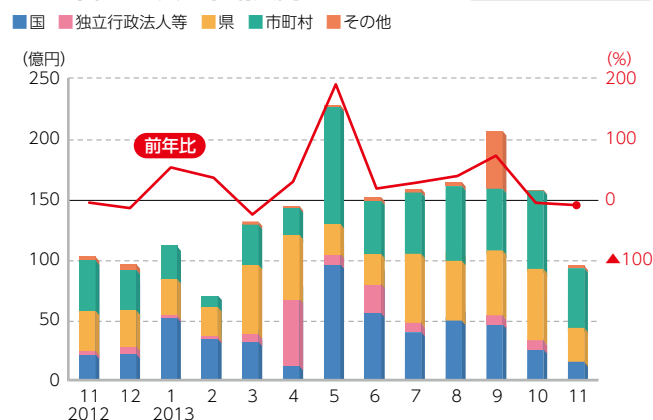
4.公共工事 | 足元は回復に向けた動きが一服

11月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比10.4%減の485件、金額が同8.2%減の91億円となりました。

発注者別では、浄水場関連工事の発注があった「市町村」が前年を上回りましたが、全体では2ヵ月連続で前年を下回り、足元は回復に向けた動きが一服しています。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の1件、負債総額が前年同月比57.1%増の約2億円となりました。

不動産賃貸業で約2億円の倒産が発生しましたが、負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 持ち直しの動きに弱さが見られる

鹿児島県の景気は、個人消費が底堅く推移しているものの、主要指標である生産に弱さが見られる等、総じて持ち直しの動きに弱さが見られます。

生産は、パソコンや携帯電話部品が減産となった電気・情報通信機械が低下する等、持ち直しの動きに弱さが見られます。個人消費は、大型小売店販売額が前年並みで推移し、自動車販売が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は消費税増税を意識した駆け込み着工により好調に推移しています。

(森山 裕司)

1.生産活動 | 持ち直しの動きに弱さが見られる

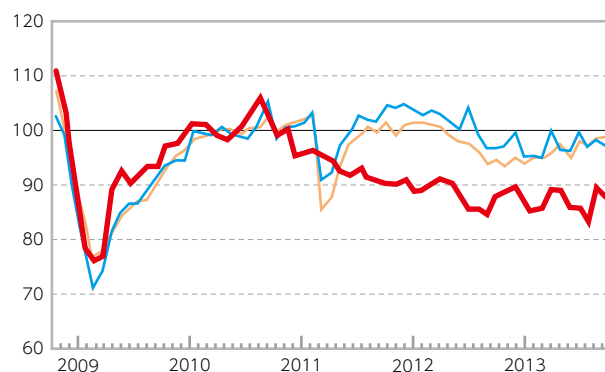
10月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は88.0と前月比1.9%低下しました。

比重の高い電子部品・デバイスが低水準で推移する等、生産は持ち直しの動きに弱さが見られます。

主要業種では、ファインセラミックスが増産となった窯業・土石製品が上昇しました。パソコンや携帯電話部品の生産が減少した電機・情報通信機械は低下しています。

■ 鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(全国・九州7県・鹿児島県 2010年=100)

出所 鹿児島、九州経済産業局、経済産業省



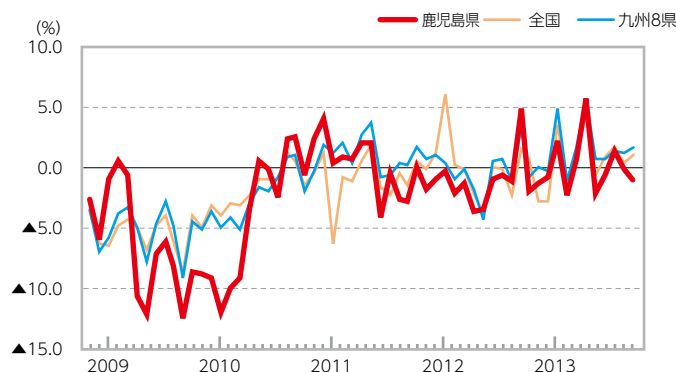
2.個人消費 | 底堅く推移している

11月の大型小売店販売額は、前年同月比0.7%減の143億円となりました。

飲食料品が惣菜を中心に好調だった一方で、月上旬の気温高でスーパーの冬物衣料の出足が鈍く、衣料品は前年を下回りました。

11月の自動車販売は、前年比14.2%増の4,800台となっています(乗用車は同21.0%増、軽自動車は同5.2%増)。

■ 鹿児島県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





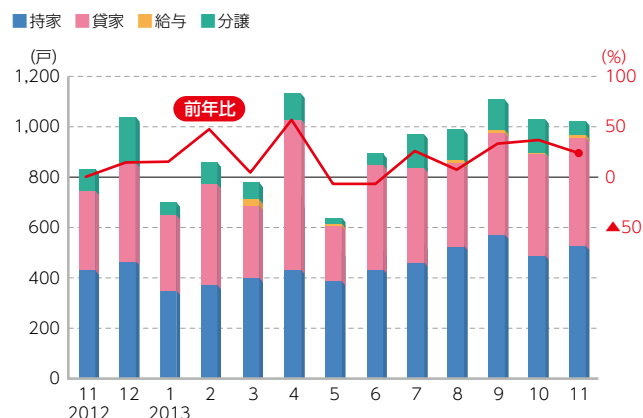
3.住宅建設 | 好調に推移している

11月の新設住宅着工戸数は、1,026戸と前年同月比22.4%増加しました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により、「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を大幅に上回る等、好調に推移しています。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



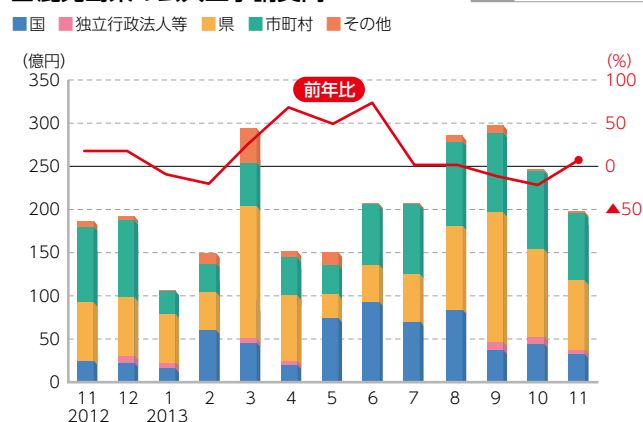
4.公共工事 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

11月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比1.8%減の756件、金額が同6.5%増の197億円となりました。

発注者別では、道路整備工事等があった「県」が前年を大幅に上回り、全体では3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月と同数の7件、負債総額が同42.2%増の約7億円となりました。

食品製造業で3億円の倒産が1件ありましたが、負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

